

総合科学コース1年 サイエンスキャンプ

2024.7.30～7.31

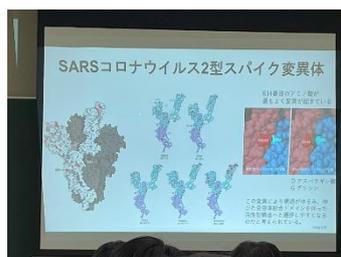
総合科学コースの1年生を対象に、サイエンスキャンプを実施しました。このキャンプでは、兵庫県立大学理学部、SPring-8、西はりま天文台、姫路獨協大学を訪問し、自然科学や医療に関する体験活動を行いました。1泊2日で、多くのことを学び、体験し、自らの進路のことを考え、クラスの絆も深まるよい機会となりました。

【訪問先①】兵庫県立大学 理学部 物質科学科/生命科学科

兵庫県立大学では、模擬講義を受け、研究室の見学を行いました。難しい内容もありましたが、生徒達は熱心に講義を受け、研究室の設備を見学することが出来ました。



説明



説明



研究室見学

【訪問先②】SPring-8

『施設見学・講話』

最初にSPring-8/SACLAについての説明や、研究者から、貴重な話を聞き、その後、施設見学を行いました。SPring-8とSACLAの違いや、光速近くまで加速された電子から得られるX線を用いて、低燃費タイヤや新薬などの研究・開発が行われていることを学びました。



施設説明



施設説明



SPring-8 見学

【訪問先③】兵庫県立大学 西はりま天文台

西はりま天文台では、貸出の天体望遠鏡や、なゆた望遠鏡で、天体観測をしました。夜の観望会では、公開望遠鏡として世界最大を誇る「なゆた望遠鏡」を使って、夏に観測できる連星や銀河の観測を行いました。快晴で、はっきりと天体観測ができました。また、肉眼で、流れ星を見た生徒もあり、有意義な夜の観望会になりました。



貸出望遠鏡 利用説明



天体観測



なゆた望遠鏡

【訪問先④】姫路獨協大学 医療保健学部

『使って解る医療機器』

姫路獨協大学では、『理科からつながる医療機器・医療職』と題して、臨床工学科・作業療法学科・言語聴覚療法学科の先生や大学生の方に、医療機器のしくみや使い方を教えていただきました。超音波エコーやその原理、聴診器、身近な自助具など、普段触れることができない貴重な体験ができました。



超音波エコー



聴診器



身近な自助具

<生徒の感想より>

- 兵庫県立大学の研究室見学では、見たことのない道具や薬品がたくさんありました。実際に研究している大学生の方もいて、近くで研究室の様子を見ることができてよかったです。機械の名前などが平気で英語表記されていて、英語の勉強を頑張らないといけないと思いました。
- 姫路獨協大学では、超音波エコーや聴診器、補聴器などの医療機器を使ったことが印象に残っています。看護師を目指している私にとって、とても良い経験になりました。